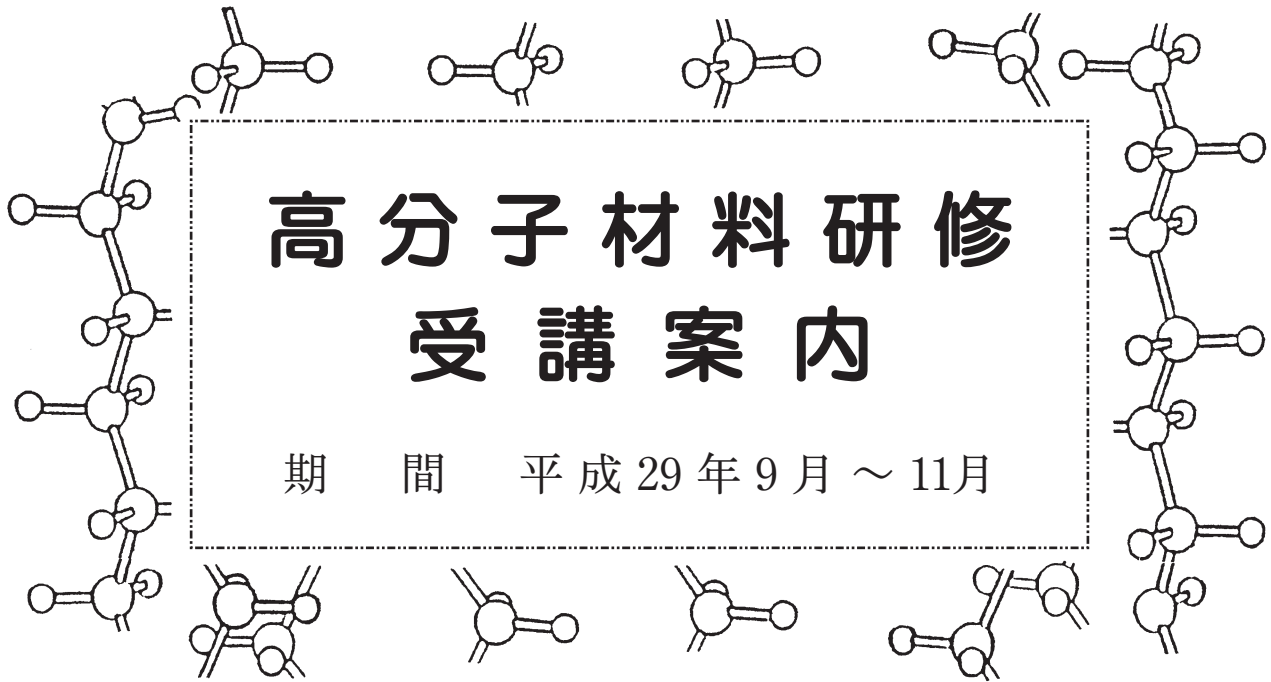


— 関係部課にご回覧下さい —

役員	部長	課長	係長	係員

平成29年度
中小企業技術者研修



“プラスチックとはどんなものだろうか？”

また“このプラスチックは、どんな材料からできているのだろうか？”

このような疑問にこたえられる技術者を養成する目的で、機器分析の実習を中心にしたコースを計画しました。

ポリマーの機器分析および機械的性質の測定など、高分子の基礎技術が習得できるような構成になっています。

主 催 名古屋市・(公財)名古屋産業振興公社

《研修生募集要項》

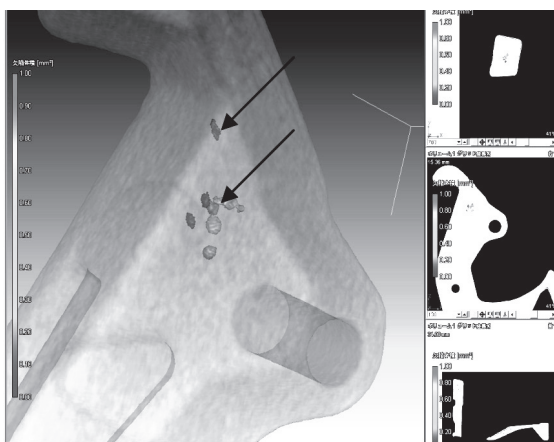
- 研修の目的** 中小企業者または、その従業員に対し技術に関する基礎理論、応用知識及びこれに関連する必要な事項等を研修することにより、中小企業の技術開発力の向上を図り、企業の発展に資することを目的とする。
- 研修期間と時間** 平成29年9月5日～平成29年11月21日 毎週火曜日
午前9時30分～午後4時30分（昼1時間休憩）
講義24時間、実習48時間 計72時間
実習は2グループに分けて行います。（1グループ5人）
- 研修場所** 名古屋市工業研究所 名古屋市熱田区六番三丁目4-41
- 募集人員** 定員10名（同一企業からは、2名まで）
- 受講料** 59,400円（税込）
- 修了証書** 所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より、修了証書が交付されます。
- 申込方法** 受講希望者は添付の受講申込書、または http://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/giken.doc からダウンロードした申込書フォーム（Word文書）に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電子メール添付のいずれかにより下記までお申込みください。（2、3日経過しても当方より連絡がない場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いいたします。）
本研修の目的に合うと認められる中小企業者からのお申込みは、先着順に受講決定のご連絡をいたします。＊大企業からのお申込みについては、募集締切後に受講可否のご連絡をいたします。中小企業者からの受付状況によって、受講をお受けできない場合がございます。また、定員に達したときは、締切日を早めることがありますのでご了承ください。
※中小企業基本法に定める中小企業に該当しない企業を大企業とします。
〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
電話〈052〉654-1653 FAX〈052〉661-0158
E-mail:kenshu@nipc.or.jp
- 募集締切日** 平成29年8月15日（火）17時必着
- 受講料の納入** 募集締切後、受講料の請求書をお送りしますので、開講日前日までにお振込みをご予定ください。
- その他** ○納入された受講料の払戻しはいたしません。
○講義日程等は変更することがあります。
○研修中の事故については、一切責任を負いません。
○本研修を受講された研修生の事業主に対して、**要件を満たす場合**、「人材開発支援助成金」（旧キャリア形成促進助成金）制度の利用ができます。

— 助成金制度の詳細やお問合わせ先 —
厚生労働省愛知労働局 あいち雇用助成室
TEL 052-688-5758

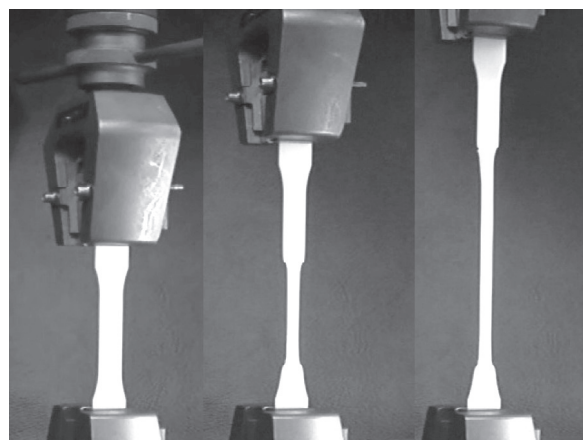
《研修科目と講師》

科 目	月 日	時間	講 師	主 な 内 容
高分子化学概論	9 / 5 (火)	6	三重大学大学院 工学研究科 川 口 正 美	高分子化学の基礎を平易に解説し、高分子入門の手引きとする。
プラスチック材料	9 / 12 (火)	3	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 岡 本 和 明	プラスチック材料の用途、性質、課題などについて解説する。
高分子複合材料概論		3	名古屋工業大学 産学官連携センター 佐 藤 紀 夫	ガラス繊維、炭素繊維、アラミド繊維等で強化したプラスチックの特長、用途などを紹介する。
高分子分析概論	9 / 19 (火)	6	名古屋工業大学大学院 工学研究科 大 谷 肇	高分子分析に利用する機器分析一般について平易に講義し、実習の指針とする。
プラスチックの添加剤	9 / 26 (火)	3	日本聴能言語福祉学院 伊 藤 信 義	プラスチック材料に利用される添加剤について解説する。
最新の射出成形技術		3	(株)名機製作所 山 本 隼 人	高付加価値製品製造に向けた多色異材質成形、射出プレス成形などの技術を解説する。
プラスチックの分光特性講義と実習	10 / 3	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 林 英 樹	プラスチック材料の分光特性の評価法の概説と実習を行う。
プラスチックの成形加工講義と実習	10 / 10 (火)	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 岡 本 和 明 名 倉 あずさ	押出機、成形機を使って、プラスチックの成形加工を行う。
赤外吸収スペクトル講義と実習	10 / 17 10 / 24 (火)	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 高 木 康 雄	赤外吸収スペクトルによるポリマーの同定および共重合体組成の判定を行う。
熱分解ガスクロマトグラフィー 講義と実習		6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 山 中 基 資	ガスクロマトグラフィーおよび熱分解ガスクロマトグラフィーについての解説と実習を行う。

科 目	月 日	時間	講 師	主 な 内 容
熱 分 析 講義と実習	10/31 11/7 (火)	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 小 田 三都郎 相 羽 誉 礼	プラスチックの示差走査熱量測定、熱重量測定についての解説と実習を行う。
X線CTとCAE 講義と実習		6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 名 倉 あずさ	X線CTを用いて樹脂や電装部品の観察を行う。樹脂部品について流動解析および静応力解析の実習を行う。
核磁気共鳴スペクトル 講義と実習	11/14 11/21 (火)	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 石 垣 友 三	有機化合物、ポリマーの同定および構造解析へのNMRの利用法について解説と実習を行う。
プラスチックの強度 試験講義と実習		6	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 二 村 道 也	プラスチックの強度、応力・ひずみ測定法の解説と実習を行う。



X線CT観察による樹脂製部品中のボイド



ポリエチレンの引張試験

連絡先 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
 公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
 電話 〈052〉 654-1653 F A X 〈052〉 661-0158
 E-mail:kenshu@nipc.or.jp

中小企業技術者研修受講申込書

平成 年 月 日

(あて先) (公財)名古屋産業振興公社ものづくり人材育成課 FAX 052-661-0158
平成 29 年度中小企業技術者研修の【 高分子材料 研修】受講を申し込みます。

ふりがな 会社名			
代表者 役職名 氏名 生年月日	年 月 日		
所在地 住所	〒		
TEL・FAX	TEL	FAX	
ホームページ URL			
資本金・従業員数	資本金	万円	従業員数 名
業種 (下記一覧より記載)			
主要製品			

受講者

ふりがな 氏名 所属・役職名			
勤務地 住所	〒		
TEL・FAX	TEL	FAX	
担当業務			

連絡責任者

ふりがな 氏名 所属・役職名			
請求書等 書類送付先 住所	〒		
TEL・FAX	TEL	FAX	

(業種分類一覧)

0001 食品製造業	0012 なめし革・同製品・毛皮製造業	0023 輸送用機械器具製造業	0034 学術研究, 専門・技術サービス業
0002 飲料・たばこ・飼料製造業	0013 窯業・土石製品製造業	0024 その他製造業	0035 宿泊業, 飲食サービス業
0003 繊維工業	0014 鉄鋼業	0025 農・林・水産業	0036 生活関連サービス業, 娯楽業
0004 木材・木製品製造業(家具を除く)	0015 非鉄金属製造業	0026 鉱業	0037 教育, 学習支援業
0005 家具・装備品製造業	0016 金属製品製造業	0027 建設業	0038 医療, 福祉
0006 パルプ・紙・紙加工品製造業	0017 はん用機械器具製造業	0028 電気・ガス・熱供給・水道業	0039 複合サービス事業
0007 印刷・同関連業	0018 生産用機械器具製造業	0029 情報通信業	0040 サービス業 (他に分類されないもの)
0008 化学工業	0019 業務用機械器具製造業	0030 運輸業	0041 公務 (他に分類されるものを除く)
0009 石油製品・石炭製品製造業	0020 電子部品・デバイス・電子回路製造業	0031 卸売・小売業	0042 分類不能の産業
0010 プラスチック製品製造業	0021 電気機械器具製造業	0032 金融・保険業	
0011 ゴム製品製造業	0022 情報通信機械器具製造業	0033 不動産業・物品賃貸	

※ご記入頂きました個人情報、研修生への連絡や名古屋市工業研究所及び当社の開催する研修の案内以外には使用いたしません。
暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。なお、その判断をするに当たっては、暴力団員であるかどうか等について、愛知県警察本部長の意見を聴くことがあります。